

令和6年度学校評価アンケート結果及び考察

飛島村立飛島学園

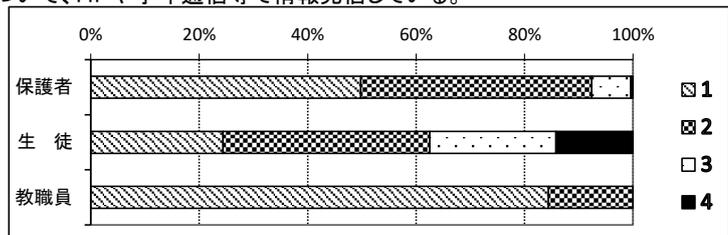
回答者	保護者（生徒一人につき一回答）※回答率 60.2% 生徒（5年生以上対象） 教職員		
実施期間	令和6年12月13日～23日		
達成度	80%以上 A	50%以上 B	50%未満 C
	※回答の1「そう思う」、2「ほぼそう思う」を合わせた数値		

1: そう思う	2: ほぼそう思う	3: あまり思わない	4: 思わない
---------	-----------	------------	---------

学校・学年・学級経営

- 質問 1 保護者 学校は、生徒や学年・学級の様子について、HPや学年通信等で情報発信している。
生徒 あなたは、学園のHPや学年通信を見ている。
教職員 学校は、生徒や学年・学級の様子について、HPや学年通信等で情報発信している。

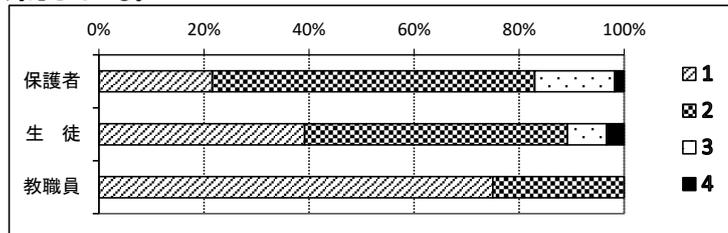
(%)	1	2	3	4	達成
保護者	49.8	42.6	7.2	0.4	A
生徒	24.4	38.1	23.3	14.2	B
教職員	84.4	15.6	0.0	0.0	A



〈考察〉 多くの保護者の方に学園HPをご覧いただきありがとうございます。今後も学園の様子を知っていただくためにHPの充実にも努めてまいります。
子どもたちはなかなか学園のHPを見る機会がないのかもしれませんが、ご家庭での話題の一つとして、学園HPの記事を取り上げていただけると幸いです。

- 質問 2 保護者 学校は、生徒の悩みや相談に丁寧に対応している。
生徒 先生たちは、悩みや相談をしっかり聞いてくれる。
教職員 学校は、生徒の悩みや相談に丁寧に対応している。

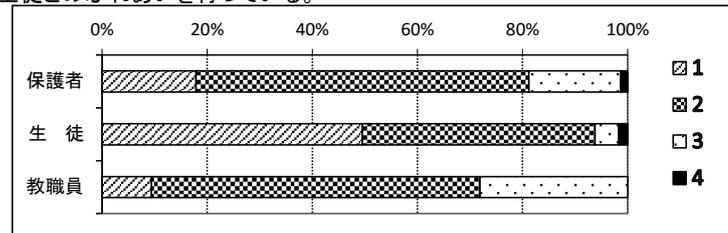
(%)	1	2	3	4	達成
保護者	21.6	61.4	15.2	1.8	A
生徒	39.2	50.0	7.4	3.4	A
教職員	75.0	25.0	0.0	0.0	A



〈考察〉 保護者、生徒、教職員の3者とも達成度はAとなりました。今後もより丁寧な対応を心がけ、子どもたちの心身の健康の保持・増進に取り組んでいきたいと思ひます。保護者の方も気になることがありましたら学園にご連絡いただければと思ひます。また、水曜日から金曜日までスクールカウンセラーも常駐しておりますので、ご活用いただければと思ひます。

- 質問 3 保護者 教員は、ゆとりをもって、学習指導や生徒とのふれあいを行っている。
生徒 先生たちは、ゆとりをもって授業をしたり、生徒と関わったりしている。
教職員 教員は、ゆとりをもって、学習指導や生徒とのふれあいを行っている。

(%)	1	2	3	4	達成
保護者	17.9	63.3	17.5	1.3	A
生徒	49.5	44.3	4.5	1.7	A
教職員	9.4	62.5	28.1	0.0	B

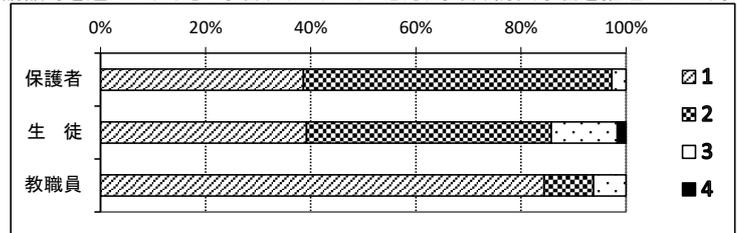


〈考察〉 全国的に教員の働き方が問題となっておりますが、本学園においても同様の状況とも言えます。教員が毎日元気に心の余裕をもって子どもと接することがよりよい教育に結びついていくものと思ひます。今後も保護者の方にご協力をいただきながら、働き方改革を進めていきたいと思ひます。

未来を切り拓く力の育成

- 質問4 保護者 学校は、生徒の体験活動や外部講師の講話等を通してふるさと学習、キャリア(生き方)学習、防災学習を推進している。
 生徒 体験活動やゲストティーチャーの話などの授業は、あなたのふるさと学習、キャリア(生き方)学習、防災学習の参考となっている。
 教職員 学校は、生徒の体験活動や外部講師の講話等を通してふるさと学習、キャリア(生き方)学習、防災学習を推進している。

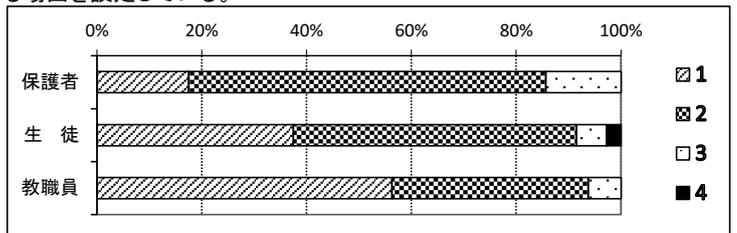
(%)	1	2	3	4	達成
保護者	38.6	58.7	2.7	0.0	A
生徒	39.2	46.6	12.5	1.7	A
教職員	84.4	9.4	6.2	0.0	A



〈考察〉 今年度も多くの講師の方を学園にお招きし、学ぶ機会をもつことができました。今回の評価にも表れていると考えます。教員だけではなく、様々な立場の方からの声を聞くことで、子どもたちの学びはより深まると考えております。特に飛島未来探究科(TOBI探)では多くの講師の方に助けていただきながら、学習を進めていきます。

- 質問5 保護者 学校は、生徒自身の力で課題解決する場面を設定している。
 生徒 授業や飛島未来探究科(TOBI探)、行事において、自分たちで課題を解決していこうとしている。
 教職員 学校は、生徒自身の力で課題解決する場面を設定している。

(%)	1	2	3	4	達成
保護者	17.5	68.2	14.3	0.0	A
生徒	37.5	54.0	5.7	2.8	A
教職員	56.3	37.5	6.2	0.0	A

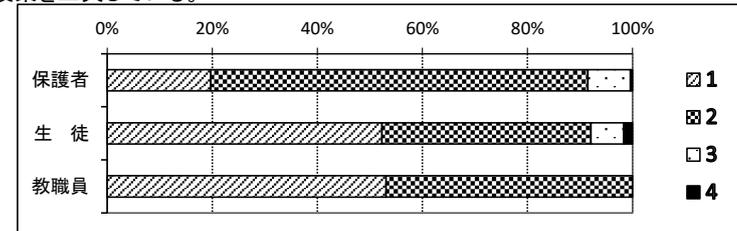


〈考察〉 社会情勢がめまぐるしく変化する中で多種多様な課題が出てきています。未来を生きる子どもたちにとってこうした課題を解決しながら、自己実現を果たし、よりよい社会にしていける力が必要とされています。どの授業においても子どもたちが、自分で課題を設定し解決していくことで、生きる力をさらに伸ばしていくことにつながると考えています。

確かな学力の定着

- 質問6 保護者 教員は、ICTも活用し、わかりやすい授業を工夫している。
 生徒 タブレットや電子黒板が活用され、授業は分かりやすい。
 教職員 教員は、ICTも活用し、わかりやすい授業を工夫している。

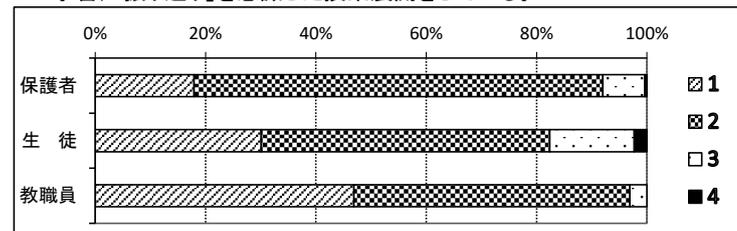
(%)	1	2	3	4	達成
保護者	19.7	71.8	8.1	0.4	A
生徒	52.3	39.8	6.2	1.7	A
教職員	53.1	46.9	0.0	0.0	A



〈考察〉 昨年度に引き続き保護者、生徒、教職員とも高い割合で達成度がAとなっています。ICT機器を有効に使いながら、よりわかりやすく、より子どもたちが主体的に学習を進めていけるよう、授業を展開していきます。

- 質問7 保護者 教員は、「めあて」「対話」「振り返り」を意識した授業を行っている。
 生徒 あなたは、「めあて」「対話」「振り返り」を意識して授業に参加している。
 教職員 教員は、「めあて」「対話」「振り返り」を意識した授業展開をしている。

(%)	1	2	3	4	達成
保護者	17.9	74.1	7.6	0.4	A
生徒	30.1	52.3	15.3	2.3	A
教職員	46.9	50.0	3.1	0.0	A

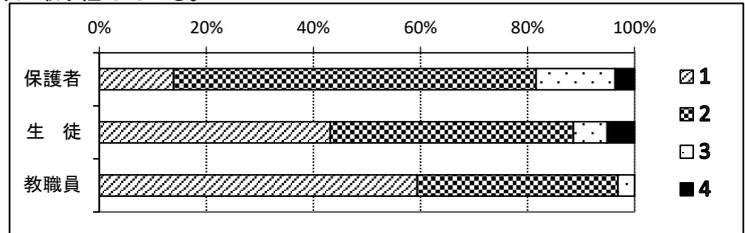


〈考察〉 今年度から「めあて」「対話」「振り返り」をより一層大切に授業展開を行っています。これからも①「めあて」を意識して見通しをもって粘り強く取り組むこと②子ども同士の協働、教職員や地域の人の「対話」などを通じ、考えを広げ深めること③自分の学習活動を「振り返って」次につなげていくことの3点を大切にしながら、子どもたちの力を伸ばしていきます。

豊かな心の醸成

- 質問 8 保護者 学校は、いじめのない学年・学級づくりに取り組んでいる。
 生徒 あなたは、人の嫌がることをしたり、言ったりしていない。
 教職員 学校は、いじめのない学年・学級づくりに取り組んでいる。

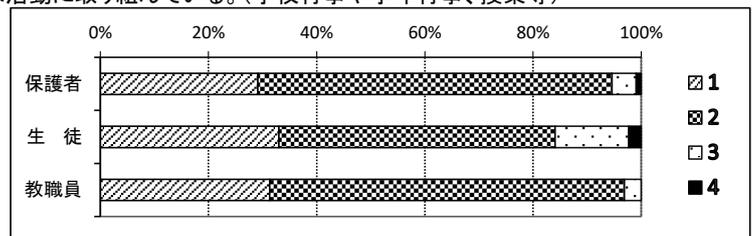
(%)	1	2	3	4	達成
保護者	13.9	67.7	14.8	3.6	A
生徒	43.2	45.4	6.3	5.1	A
教職員	59.4	37.5	3.1	0.0	A



〈考察〉 保護者の方からの評価は昨年度はBでしたが、本年度はAとなっています。教員による日頃の指導を基本として、外部講師を招聘しての講演会等も実施するなど、子どもたち一人一人の人権を大切にしながら、いじめを許さない学年・学級・学園づくりに励んでいきたいと思ひます。

- 質問 9 保護者 お子様は、他者理解に努め、さまざまな活動に取り組んでいる。(学校行事や学年行事、授業等)
 生徒 あなたは、周りの生徒のよさを見つけようとしている。
 教職員 生徒は、他者理解に努め、さまざまな活動に取り組んでいる。(学校行事や学年行事、授業等)

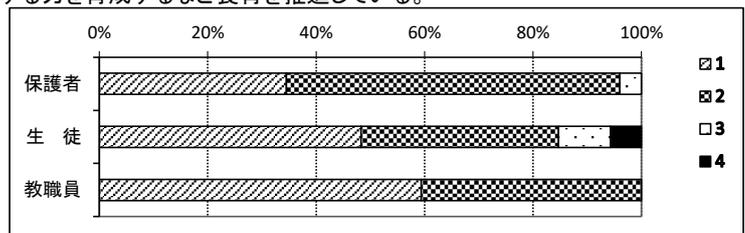
(%)	1	2	3	4	達成
保護者	29.1	65.5	4.5	0.9	A
生徒	33.0	51.1	13.6	2.3	A
教職員	31.3	65.6	3.1	0.0	A



〈考察〉 多様な価値観が存在する今日、より多くの人が集まった集団で生活をしていくためには他者理解が必要となります。学校という社会においても同様です。個々の子どもたちの個性が発揮される活動場面を設定するとともに、他者理解が一層進むよう、道徳教育の充実も図っていききたいと思ひます。

- 質問 10 保護者 学校は、食に関する知識や食を選択する力を育成するなど食育を推進している。
 生徒 食育通信などで食について学び、苦手な食べ物も食べるように努力している。
 教職員 学校は、食に関する知識や食を選択する力を育成するなど食育を推進している。

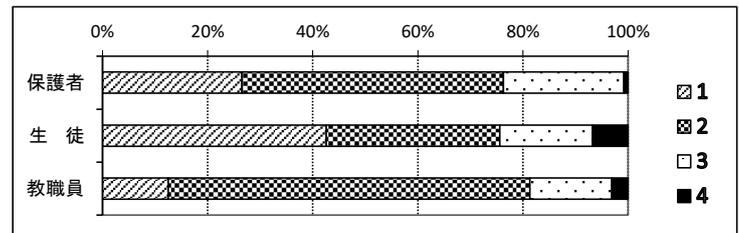
(%)	1	2	3	4	達成
保護者	34.5	61.5	4.0	0.0	A
生徒	48.3	36.4	9.6	5.7	A
教職員	59.4	40.6	0.0	0.0	A



〈考察〉 学園では、年間8回の減農薬野菜給食やSDGsの観点からの残菜現象の呼びかけ、月1回の食育通信、1年生を対象とした講師の先生による食育教室など様々な取組を行っています。また苦手な子も多い魚料理も月1回「おさかなチャレンジデー」を設定し給食委員からの呼びかけをするなどして、食育を推進しています。

- 質問 11 保護者 お子様は、夢や希望をもっている。
 生徒 あなたは、夢や希望をもっている。
 教職員 生徒は、夢や希望をもっている。

(%)	1	2	3	4	達成
保護者	26.5	49.8	22.9	0.8	B
生徒	42.6	33.0	17.6	6.8	B
教職員	12.5	68.8	15.6	3.1	A

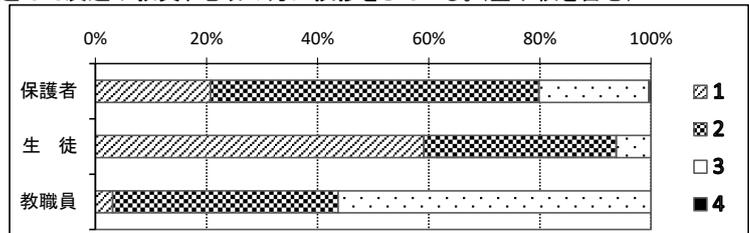


〈考察〉 子どもも大人も夢や希望のもてる社会であってほしいと思ひます。子どもたちが夢や希望をもてるよう、総合的な学習の時間を中心にキャリア教育をいっそう推進していきます。

かかわる力の育成

- 質問 12 保護者 お子様は、学園生活において自分から進んで友達や教員、地域の方に挨拶をしている。(登下校を含む)
 生徒 あなたは、自分から進んで友達や先生、地域の方に挨拶をしている。(登下校を含む)
 教職員 生徒は、学園生活において自分から進んで友達や教員、地域の方に挨拶をしている。(登下校を含む)

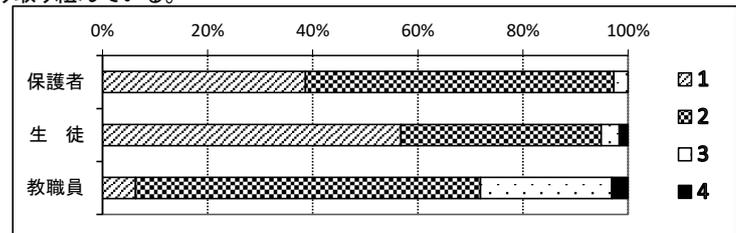
(%)	1	2	3	4	達成
保護者	20.7	59.2	19.7	0.4	B
生徒	59.1	34.7	6.2	0.0	A
教職員	3.1	40.6	56.3	0.0	C



〈考察〉 生徒、保護者、教員との間に認識のずれが生じている状況です。生徒は、進んで挨拶していると回答する者が多く、保護者から見てもよく挨拶できていると感じているようです。本年度より発足した学校運営協議会でも「あいさつ」を重点的に取り組んでいただいています。教員も挨拶を積極的に行い、生徒会活動でも挨拶運動をしております。ご協力をお願いします。

- 質問 13 保護者 お子様は、係活動や清掃活動にしっかり取り組んでいる。
 生徒 あなたは、係活動や清掃活動にしっかり取り組んでいる。
 教職員 生徒は、係活動や清掃活動にしっかり取り組んでいる。

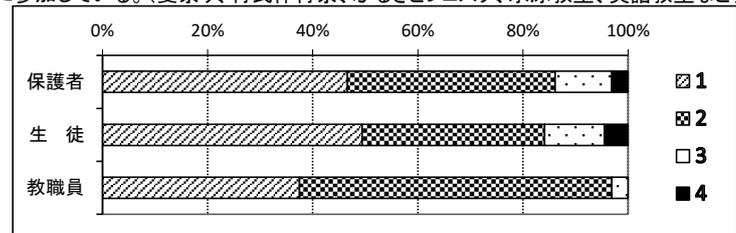
(%)	1	2	3	4	達成
保護者	38.6	58.7	2.7	0.0	A
生徒	56.8	38.1	3.4	1.7	A
教職員	6.3	65.6	25.0	3.1	B



〈考察〉 係活動は、日々の仕事に確実に取り組み、学級の一員として自覚を高める上で大切な活動です。清掃活動は、共同で活動する場所を中心として異学年で構成されたメンバーで活動しています。教え、教えられる状態で、異学年ならではの学びがあります。今後も、子どもたちが達成感ややりがいを感じられる係活動や清掃活動となるように指導していきたいと思えます。

- 質問 14 保護者 お子様は、飛鳥村のイベントや教室・講座に参加している。(夏祭り、村民体育祭、ふるさとフェスタ、水泳教室、英語教室など)
 生徒 あなたは、飛鳥村のイベントや教室・講座に参加している。(夏祭り、村民体育祭、ふるさとフェスタ、水泳教室、英語教室など)
 教職員 生徒は、飛鳥村のイベントや教室・講座に参加している。(夏祭り、村民体育祭、ふるさとフェスタ、水泳教室、英語教室など)

(%)	1	2	3	4	達成
保護者	46.6	39.5	10.8	3.1	A
生徒	49.4	34.7	11.4	4.5	A
教職員	37.5	59.4	3.1	0.0	A

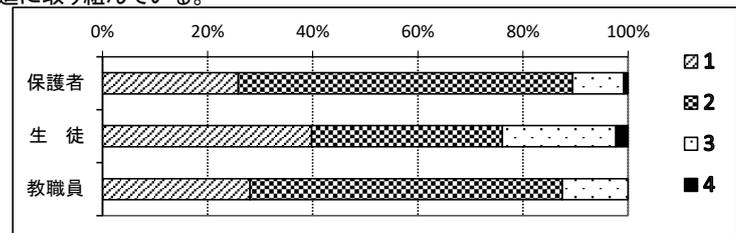


〈考察〉 村民体育祭やふるさとフェスタなど村と学園が連携したイベントに、多くの子どもたちに参加していただきありがとうございます。地域の一員として、地域の行事を大切にする気持ちをこれからも育てていきたいと思えます。

健やかな体づくり

- 質問 15 保護者 学校は、生徒の健康・体力の保持増進に取り組んでいる。
 生徒 あなたは、自分の体重や視力など健康状態を知るとともに、体力をつけることをしている。(体育の授業は除く)
 教職員 学校は、生徒の健康・体力の保持増進に取り組んでいる。

(%)	1	2	3	4	達成
保護者	27.4	67.4	10.3	0.9	A
生徒	39.8	36.3	21.6	2.3	B
教職員	28.1	59.4	12.5	0.0	A



〈考察〉 身体測定時に熱中症予防や目の健康について養護教諭から話をしたり、村の保健師や学校歯科医に歯磨き指導を依頼したりして、多面的に健康教育を行ってきました。後期課程についてはある程度部活動で体力づくりを行えますが、前期課程の生徒については、屋外で元気に遊ぶことも体力向上につながるため、ご家庭でもご協力をいただけたらと思います。

<自由記述欄から>

「多彩な教育をしていただきありがとうございます」「現状で満足しています。ありがとうございます」「いつも子どもたちに丁寧に関わっていただき感謝しています」など、励みとなるご意見をありがとうございます。こうした声をより多く届けていただけるよう教職員一同いっそう努力してまいりたいと思います。

【行事日程について】

今年度より体育祭を平日に開催しました。また、前期課程の懇談についても時期を移しています。ご理解ご協力いただきましてありがとうございます。体育祭や懇談も含めて、学校行事等の日程についてご意見をいただきました。ご意見を参考にしながら、他の行事との関係や学年行事との関わり等、総合的に判断して次年度の日程を検討していきたいと思ひます。

【学園のきまりについて】

本年度より、前期課程のランドセルについては通年でリュック等の選択ができるようになりました。後期課程の制服は、来年度から防寒性や機能性などの高いブレザーとなります。学園のきまりについて肯定的な意見、よりよい方向へのご提案もいただきました。時代に合わせて保護者の皆様、生徒の意見を取り入れながら、よりよい学園生活を送ることができるように考えていきたいと思ひます。

【授業・学級について】

授業での生徒への言葉がけ、学習支援、授業の内容、生徒への心理的な支援などについて、ご意見をいただきました。授業については、今年度より「めあて」「対話」「振り返り」をより一層大切にして行っています。また外部講師の先生方を招いての授業では、生徒たちは意欲的に学びを行うことができました。

今後もより生徒に寄り添った指導を行い、力を伸ばして行けるよう、授業や生徒指導等の研修を重ねていきたいと思ひます。職員では捉え切れていないお子様の悩みや心配事がありましたら、学園にご相談いただけますと幸いです。

【部活動について】

本年度9月より休日の部活動を、教員ではなく専門の知識をもった指導員に委託しております。生徒や保護者の皆様からは「指導が分かりやすい」「一から基本を丁寧に教えてくれる」「慣れてきた先生から代わって心配だったが、子どもが楽しく練習をしていて安心した」等のご意見をいただいています。学園では生徒数、職員数を考慮しつつ持続可能な部活動について検討をしています。ご理解とご協力をお願いします。

お忙しい中、学校評価にご協力いただきありがとうございます。保護者の皆様や子どもたちの声を真摯に受け止め、今後も生徒の笑顔を求めて、未来を切り拓く力を育成するために、教職員一同力を尽くしてまいりたいと思ひます。今後とも本学園の教育活動にご理解、ご協力をお願いいたします。